

**製品名: BRAF マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80718**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	87kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BRAF
別名	BRAF1; RAFB1; B-RAF1; FLJ95109
遺伝子 ID	673.0
SwissProt ID	P15056
免疫原	大腸菌で発現したヒト BRAF の精製された組み換え断片。

**背景**

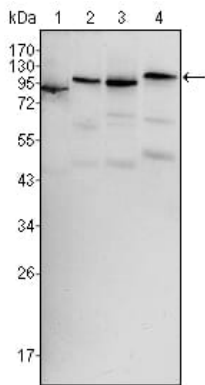
BRAF: v-raf マウス肉腫ウイルス癌遺伝子ホモログ B1。BRAF1、RAFB1、B-RAF1、FLJ95109 と呼ばれる。Entrez Protein NP\_004324。GTP 結合型 Ras によってリクルートされ、MEK-MAP キナーゼ経路を活性化する主要なエフェクターである。B-Raf

は、3つのコンセンサス Akt リン酸化部位 (Ser364、Ser428、および Thr439) を含む。B-Raf は、ミトゲン活性化プロテインキナーゼ (MEK) の重要な調節分子であり、長いアミノ末端領域を有する。この領域は、B-Raf のホモ二量体形成、および細胞膜における B-Raf と c-Raf のヘテロ二量体形成に必須であり、その後、B-Raf 特異的アミノ末端領域の Thr118 がリン酸化される。注目すべきことに、カルシウムイオノフォア刺激を受けた HeLa 細胞において、B-Raf は GTP-Ras の基底レベル以下で MEK にシグナルを伝播することができました。Raf-B の発現は非常に限定されており、最も高いレベルは脳と精巣にあります。BRAF 遺伝子の異常は、幅広い癌に関連しています。BRAF 遺伝子変異は、甲状腺乳頭癌、色素細胞性母斑、原発性皮膚悪性黒色腫、大腸癌で頻繁に検出されます。

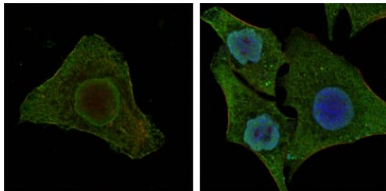
## 研究分野

MAPK シグナル伝達経路

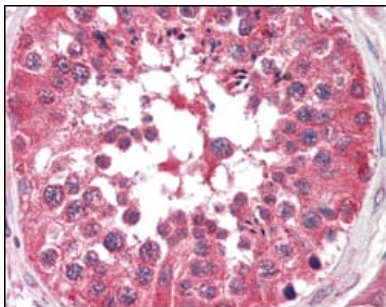
## 画像データ



Hela (1)、HL60 (2)、HepG2 (3)、NIH/3T3 (4) 細胞溶解物に対する BRAF マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



BRAF マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞 (左) および HepG2 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素



BRAF マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学分析。